

かくだ市議会だより



第416回定例会

- 質疑・討論 …………… 2・3
- 議案審議結果 …………… 4
- 予算審査特別委員会 …………… 5
- 会派代表質問・決議 …………… 6
- 一般質問 …………… 7～12

角田市議会から

- 議員研修会・傍聴・議会日誌 …… 13
- 議会だよりモニター委嘱状交付式 …… 14

【今号の表紙】『5月の手代木沼』

「サギ」の繁殖行動が見られる5月、手代木沼は「山藤」の満開と重なる。

多分この地だけしか見ることのできないと思う美しい光景となる。

《撮影》角田市角田 石原 三雄 さん

撮影日：2021年5月7日 場 所：角田市高倉（手代木沼）

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第416回 2月定例会

第416回定例会は2月17日から3月15日までの27日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定、新年度予算などの議案26件を審議し、原案のとおり可決・承認し、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適任と答申しました。

また、施政方針に対する会派代表質問では2人の会派代表者が質問を行い、一般質問では、11人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り上げました。

最終日には決議を含む議員提出議案が2件提出され、原案のとおり可決されました。

■一般・特別会計補正予算一覧 (単位:千円)

会計区分	補正額(2月)	補正後の額
一般会計	1,138,986	18,232,201
特別会計		
国民健康保険事業	△9,068	3,579,805
後期高齢者医療	△4,428	360,581
介護保険	△39,983	3,283,001

■一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入) (単位:千円)

項目	補正額
普通交付税	745,656
公共土木施設災害復旧事業費負担金	160,112
ふるさと納税寄附金	300,000

歳出(支出) (単位:千円)

項目	補正額
減債基金積立金	500,000
子ども子育て未来基金積立金	300,000
農業振興基金積立金	107,871

議案第2号

一般会計補正予算(第15号)

農林業系廃棄物収集運搬業務委託料

減額となった理由は。

問 当初予算では堆肥55.5、38トン、ほだ木25.4、5トンを予定量としていたが、実績は堆肥47.6、19トン、ほだ木10.33トンとなり、ほだ木の収集・運搬量に差が生じたためである。

今後の処理計画は。

答 令和4年度に牧草約42トンを焼却予定であり、2市7町及び仙南広域で作成した農林業系廃棄物焼却計画を超えた分の堆肥360トンは今後仙南広域と協議・検討する。

保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特別事業補助金

保育所、幼稚園などに勤務する職員の処遇改善のため、令和4年2月から3パーセント程度の賃金引上げの措置を実施する保育所、幼稚園などに対し、必要な費用を補助するもの。

問 市内施設の賃上げ額は。

市内施設の賃上げ額は。

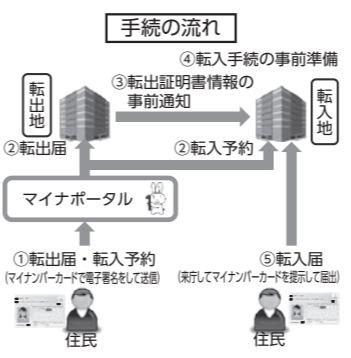
答 市内の民間7施設のうち対象者は105名で、平均額は8,700円から1万1,937円になると想定している。なお、賃金改善の具体的な方法、対象者、改善額は事業主の判断に委ねられている。

住民基本台帳事務

マイナンバー所有者がマイナンバーから転出届・転入予約を行うことで、手続の時間短縮化・ワンストップ化を図るもの。

改修を行う住民記録システムとは。

答 住民票の管理や発行等の管理を行い、住民基本台帳法第7条に規定する住所、氏名、生年月日、性別、続柄、世帯主などの基本的項目を管理するシステムである。



議案第26号

角田市第6次長期総合計画基本構想について

令和4年度から10年間の市のまちづくりの指針となる計画を制定するもの。

基本理念

- ・将来を見据え人を育み、活かすまちづくり【市民力】
- ・ともに生き、活かすまちづくり【地域共生】
- ・地域資源を活かすまちづくり【地域資源フル活用】

反対討論……日下 七郎

基本構想の将来の都市像はコンパクトシティとのことである。郡部の公共施設を廃止し、中心部に統合となれば、人口の流出、少子高齢化がさらに危惧される。角田市の財政状況が硬直化し、ふるさと納税が頼もしく見えるようだが、市税の増収を図る政策である。人づくりのための支援、気候変動による度重なる風水害に対応する施策など総じて同意するまでに至らないため、反対する。

賛成討論……小島 正

10年後の角田市のあるべき姿としての都市像を体現するため、市民力を活かす市民の皆様とともに実行する。主要課題を克服するため、市民が主役の、角田市らしい魅力を持った個性豊かなまちづくりを進めるとの説明であった。角田市を持続可能なものとするための羅針盤となる大変重要な構想であり、安全・安心、そして健全な「市民力」を誇る。角田市「」になることを期待し、賛成する。

議案第11号

角田市子ども子育て未来基金条例の制定について

未来を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つことのできる環境を整え、子育てにやさしいまちづくりの推進を図るための事業の財源とし、計画的な子育て施策運営に資するため条例を制定するもの。

教育厚生建設常任委員会での質疑

基金を取り崩し、一般会計に繰入れを予定している事業は。

答 新規事業として新型コロナウイルス感染症対策臨時特別出産給付金支給事業がある。また、子ども医療費助成事業は、所得制限撤廃分について、約9,900万円の予算のうち16%相当分を充てる。



▲教育厚生建設常任委員会の審査

議案第9号

角田市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について

インターネット上でも行政手続が可能となるよう、オンライン化のために必要な事項を定めるため条例を制定するもの。

総務産業常任委員会での質疑

手続の際に、市民への負担が増えることはないか。

答 従来の書面による手続に「オンライン手続」という選択肢を増やし、市民の利便性向上を図るものである。

議案第10号

角田市特別会計条例の制定について

新たな雇用の創出を図るとともに、地域密着型の企業誘致を戦略的に推進することを目的に「角田市産業用地造成事業特別会計」を設置するため条例を制定するもの。

総務産業常任委員会での質疑

弾力条項について説明を求める。

答 通常、歳入歳出はイコールとなるが、地方自治法の規定により、その事業の経費を主として当該事業の経営に伴う収入をもって充てるものを条例において定めるものについて、業務量の増加により、業務のため直接必要な経費に不足を生じたときは、当該業務量の増加により、増加する収入に相当する金額を計上できるものである。その場合、次の議会に報告する義務が発生する。

弾力条項を規定した理由は、本市に進出したい要望が企業よりあった際に、この弾力条項を適用し、企業に用地を売却する、紹介をする、面積が



反対討論……日下 七郎

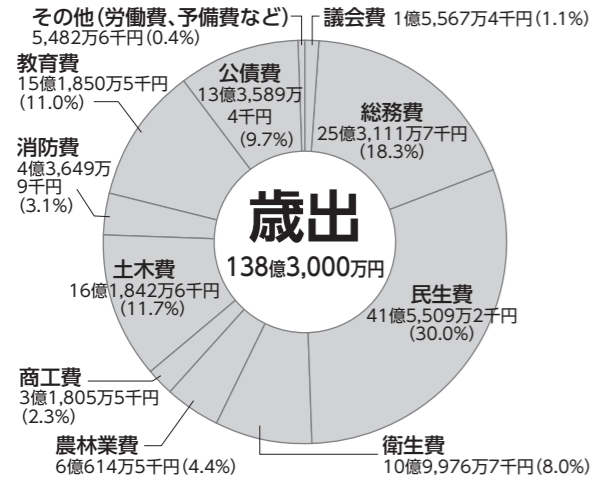
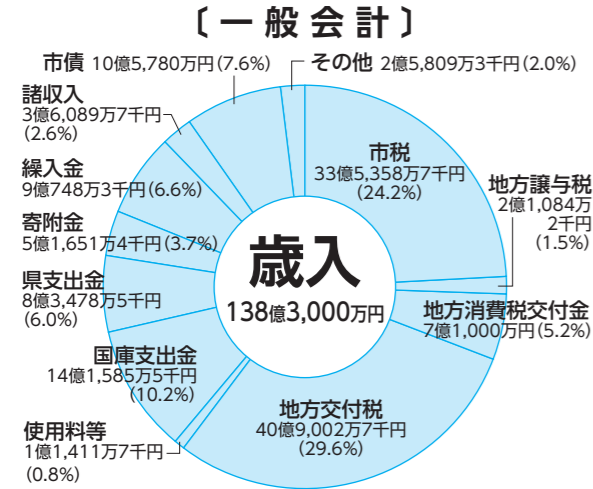
山本壮一郎知事当時、市は、企業誘致のために県から内陸工業団地の指定と低開発促進法の適用を受け、角田市土地開発公社を設立(市が出資)。工業団地の取得と造成を行ったが、塩漬けとなり、角田市土地開発公社は解散する苦い経験をした。また、関連する議案第22号は、用地取得費及び人件費が予算から欠落しており、予算の執行が不可能であるとともに、地方自治法第222条の予算を伴う条例の制限の規定に反する。以上のことから本議案の提出には疑問があり、条例制定に反対する。

特別会計とは？

特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるときには、条例によって設置できる会計のことです。

賛成討論……小島 正

角田市第6次長期総合計画で「地域資源を活用した創業支援と企業誘致」を掲げており、企業誘致や就業環境を整備する目的から、本条例を制定するものである。また、弾力条項の適用の規定については、本市に進出を希望する企業にスピード感ある対応を行うため、必要不可欠な条文との説明であり理解できるものである。人口が減少する中で、企業誘致や就業環境を整備し、雇用の維持・拡大を図ることは、地域経済の持続的な発展や地域の活性化には重要な施策であるため、条例制定に賛成する。



令和4年度予算
2月28日に設置された予算審査特別委員会（馬場道晴委員長、星守夫副委員長）は、実質5日間にわたり全委員で審議を行いました。3月15日に委員長より審査結果の報告があり、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

令和4年度 各種会計予算総括表 (単位:千円)

会計区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	金額	金額	増減額	増減率		
一般会計	13,830,000	13,120,000	710,000	5.4%		
特別会計						
国民健康保険事業	3,472,091	3,583,552	▲111,461	▲3.1%		
後期高齢者医療	389,781	361,218	28,563	7.9%		
介護保険	3,246,010	3,289,166	▲43,156	▲1.3%		
産業用地造成事業	30,000	0	30,000	皆増		
東根財産区	495	495	0	0.0%		
計	7,138,377	7,234,431	▲96,054	▲1.3%		
企業会計						
水道事業						
収益的支出	948,145	1,000,085	▲51,940	▲5.2%		
資本的支出	374,757	414,459	▲39,702	▲9.6%		
下水道事業						
収益的支出	957,678	980,763	▲23,085	▲2.4%		
資本的支出	1,098,934	1,161,341	▲62,407	▲5.4%		
計	3,379,514	3,556,648	▲177,134	▲5.0%		
合計	24,347,891	23,911,079	436,812	1.8%		

一般会計予算審査
市民提案型 まちづくり事業 144万円
補助対象団体、応募など詳細内容について説明を求める。
答 補助対象団体は市内に活動拠点のある市民団体又はグループなどで新規・既存問わず対象となる。
提案事業をブラッシュアップするため、市民ワークショップの開催、審査会では提案者と一緒に第三者の市民の方々に意見も聞いた上で審査・選考を行う。事業実施までの流れとして、市民の方々に意見を聞く場の設定、市民力を醸成していくための市民相互のネットワーク形成や、多くの方がまちづくりに参加できる機会を増やすことを目指す。
なお、今後も継続事業としていくことを検討しており、初年度となる令和4年度は周知期間でも

あることから、提案者の準備や事業実施できる期間について十分に確保できるように、柔軟に対応していきたい。
都市計画マスタープラン策定業務(都市計画総務費) 700万円
計画スケジュールの詳細説明を求める。
答 令和4年度は①プロポーザル形式による事業者選定、②市の現況、上位計画である第6次長期総合計画との調整をする基礎的調査、③市民約2,000人への住民意向調査、④基本理念や都市づくりの目標など全体構想策定を予定している。
令和5年度は①地域別に構想を検討、②マスタープラン実現のための具体化方策を設定、③住民説明会及びパブリックコメントの実施、④計画の取りまとめを予定している。

コンビニ交付サービス(番号法対応事業) 4,957千円
利用見込み数は、また、導入に係る委託料の財源は。
答 マイナンバーカードを用いることが前提となるが、証明書を取得する方の半数程度を見込んでいます。また、導入経費などを含めた委託料の2分の1が特別交付税で措置される。
次世代育成推進事業 419万円
高校生地域探究活動支援は、高校生がどのように関わるのか。
答 角田高校の「総合的な地域探究の時間」の学習と連携していく予定である。高校生の考えや思いを引き出し、そのアイデアを地域づくりなどに活かすとともに、学びによる社会参画を支援していく。

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの ○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長(渡邊 誠)は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果(賛成:反対)	会派一心		市民クラブ		日本共産党角田市議員		志政クラブ		無会派		
				菊地利衛	小湊毅	星隆悦	戸村眞喜夫	星守夫	小島正	湯村勇	日下七郎	八島定雄	堀田孝一	武藤広一
市長	議案第9号	角田市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第10号	角田市特別会計条例の制定について	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第14号	角田市印鑑条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第15号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第18号	令和4年度角田市一般会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第19号	令和4年度角田市国民健康保険事業特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第20号	令和4年度角田市後期高齢者医療特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第21号	令和4年度角田市介護保険特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第22号	令和4年度角田市産業用地造成事業特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第26号	角田市第6次長期総合計画基本構想について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名	提出者	議案番号	件名
市長	議案第1号	専決処分報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度角田市一般会計補正予算(第14号))	市議員	議案第13号	個人情報保護条例の一部改正について
	議案第2号	令和3年度角田市一般会計補正予算(第15号)		議案第16号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
	議案第3号	令和3年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		議案第17号	角田市国民健康保険条例の一部改正について
	議案第4号	令和3年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		議案第23号	令和4年度角田市東根財産区特別会計予算
	議案第5号	令和3年度角田市介護保険特別会計補正予算(第5号)		議案第24号	令和4年度角田市水道事業会計予算
	議案第6号	令和3年度角田市水道事業会計補正予算(第5号)		議案第25号	令和4年度角田市下水道事業会計予算
	議案第7号	令和3年度角田市下水道事業会計補正予算(第4号)		諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について
	議案第8号	角田市21世紀の田園文化創造基金条例の廃止について		議会案第1号	角田市議会委員会条例の一部改正について
	議案第11号	角田市子ども子育て未来基金条例の制定について		議会案第2号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議について
議案第12号	角田市附属機関の設置等に関する条例の一部改正について				

人権擁護委員の候補者の推薦
《再任》 荒井 秀一
《再任》 毛利 正子
《再任》 毛利 美貴子
●任期 令和4年7月1日
 令和7年6月30日
皆々からの陳情
▼毛嘉萍氏の早期救出を求める意見書の提出を求める陳情
付 偉彰
▲北角田中学校区通学路の安全確保並びに施設整備を求める陳情
北角田地区学校教育振興会 副会長 菊地 保次
陳情・請陳とは？
市民の皆さんのご意見や要望を市政に反映させるための制度で、議会招集日の7日前までに提出された陳情・請願は、その定例会の会期中に審議されます。
○角田市に直接関係のない場合には、不採択になる場合があります。
○請願には1人以上の紹介議員の署名又は記名押印が必要です。
陳情・請願の提出期限は 6月3日(金)まで

11人の議員が市政を問う

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質すことです。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。

議員名	質問項目	頁
堀田 孝一	空き家対策について	12
日下 七郎	枝野地区の防災・減災対策の計画事業年度の繰上げについて その他の質問 ・再度の鳥石農村公園の工事・開設時期と取付け道路について ・再度の市道敷地内に鳥居設置などについて	12
星 隆悦	デジタル化に向けた角田市の今後の取組について	11
八島 定雄	角田市の「デジタル化の課題と焦点」について その他の質問 ・国民健康保険税の子どもの均等割軽減について	11
馬場 道晴	廃校を活用した日本語学校の開設について	10
菅野 マホ	「角田市の情報発信と市民力」について その他の質問 ・「角田市の芸術文化振興」について	10
菊地 利衛	「雇用の創出」及び「子育て環境の充実」に向けた県との連携について 「みやぎ県南中核病院相乗リタクシー試験運行」その後について	9
小湊 毅	コロナ禍後の角田市活性化に向けた健康ポイント事業のさらなる活用について	9
小島 正	南角田駅周辺の整備について その他の質問 ・旧小田児童館、旧小田小学校について	8
武藤 広一	ふるさと納税のこれまでと、今後の展望について	8
戸村眞喜夫	角田市の和牛生産振興について 資源循環型農業の現状について	7
質問議員(質問順)	質問項目	頁

日本共産党角田市議団

日下 七郎議員

〔令和3年度地方交付税交付金の令和4年度角田市一般会計予算への反映について〕

議員▼角田市に普通交付税(12月27日交付分) 2億1,359万8千円が示され、単独事業として新型コロナウイルス感染症拡大による地域経済対策や市民生活に係る事業計画を国に提出している。令和4年度予算に反映するため、1月中旬に国へ提出した実施計画の内容について問う。

市長▼実施計画分は、今回の追加交付に含まない。今回の普通交付税は、国により令和3年度一般会計当初予算の再算定が行われ、2億1,359万8千円となった。その内訳は、臨時経済対策費7,790万9千円、臨時財政対策債償還基金費1億3,091万5千円、

会派代表質問とは、会派に所属する議員が、会派を代表して行う質問のことです。「施政方針(例年2月定例会)」と「市長の所信表明」に対して行うことができ、一問一答で行われます。

会派一心

菊地 利衛議員

調整額477万4千円である。なお、今回の追加交付に係る臨時財政対策債償還基金費相当分は、後年度の臨時財政対策債償還費に算入されないため、減債基金に積み立てることとしている。

議員▼市長の公約である、学校給食費の無償化の実施について問う。
市長▼安定した財源確保や経費削減策の実施による持続可能な行政運営の確立を前提に、第6次長期総合計画重点プロジェクト②の施策、子育て支援の充実において組織する庁内プロジェクトチームで検討し、教育委員会と協議していきたい。

議員▼「道の駅を活用した地域経済の活性化」で「新たな街中への誘導の方策を模索」とあるが、具体的な考えはあるのか。
市長▼実施期間がイベント時のみだったため、今後は継続的な誘導を検討する。また、街中どのような店があるかを知ってもらうことが肝要だ。
議員▼角田駅コミュニティプラザに角田自治センターが移転するにあたり、会議室などの利用時間は変更になるのか。また、売店や喫茶コーナーは維持できるのか。
市長▼利用時間等は従来と同じである。売店や喫茶コーナーも維持したい。
議員▼「子育てしやすい環境づくり」で、産婦人科小児科オンライン相談とはどのような仕組みか。また、本人負担はあるのか。

市長▼妊産婦や育児中の母親が、自宅にいなながらインターネットで小児科産婦人科、助産師に24時間365日いつでも相談できるシステムである。なお、本人負担はない。
議員▼みやぎ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業について問う。
市長▼中核病院へ通院のためタクシーを利用した場合、半額(上限3,000円)助成する制度である。
議員▼刈田病院や丸森町立病院等に通院する方が助成対象にならないのは不公平ではないか。
市長▼そうだったことも、今後、視野に入りたい。
議員▼移住・定住支援策で、交流人口や関係人口も重要な施策だが、定住人口の増加に軸足を置くべきだ。
市長▼その通りであり、今後も継続してどのような施策が取れるか検討していく。

決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議

ロシアは、令和4年2月24日、ウクライナへの軍事侵攻を開始した。これは、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁じる国際法の深刻な違反であり、どのような理由があっても、紛争の平和解決、武力行使の禁止を定めた国連憲章の重大な違反で断じて許されない。力による現状変更は欧州にとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態であり、看過できない。よって、角田市議会は、ロシアに対し、国際秩序を脅かすウクライナへの軍事侵攻に、断固抗議するとともに、攻撃を停止し、ロシア軍の即時撤退を求める。

以上、決議する。
令和4年3月15日

角田市議会

本議会は、各地で激化している戦闘により、市民生活に不可欠なインフラなど甚大な被害を受けているウクライナへの人道的支援のため、全会一致で支援金(20万円)を募ることに決定しました。なお、支援金は、ウクライナ国内での人道危機対応、避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動の支援などに、日本赤十字社を通して、活用されます。



角田市の和牛生産振興について

戸村 眞喜夫

議員▼令和2年度の和牛生産額は約10億円を超え、米販売額約15億円の次に位置している。この要因は、高能力繁殖雌牛を平成26年度から市の助成を得て導入し続けた結果、飼育技術の向上と相まって、仔牛の品質が上がり販売単価が市場平均よりも高くなったからだとわれている。今後、和牛生産の拡大と角田産ブランド育成のために、さらなる繁殖雌牛群の改良継続策が必要ではないか。

市長▼角田市が和牛の産地として確固たる地位を確立できるよう、令和4年度以降も優良繁殖雌牛導入特別対策事業を継続し、支援していきたい。

議員▼コロナ禍の影響で、経営が苦しくなっている肥育農家を支援するために、角田産仔牛を購入した場合に、市として助成措置を講ずることが必要ではないか。

市長▼助成措置がブランド化につながり、付加価値として売れ出すことができないかなど、効果を調査検討して前向きに進めたい。宮城県他市の例があるのであれば参考にし、生産組合やJAなどと協議をしながら、実現できるように頑張りたい。

議員▼牛肉の地産地消の拡大(角田市内での消費拡大と周知の促進)について、どう考えているのか問う。
市長▼市内における角田産牛のニーズ拡大を図るとともに、地産地消がさらに促進するような施策を生産者と一緒に取り組みたい。また、今後、関係団体と協議をしながら、食農教育の一環として学校給食の回数が増やせるか検討したい。

議員▼角田市は農業振興策として、耕畜連携の資源循環型農業を推進し、安全安心な農畜産物の生産と資源の有効活用に寄与している。しかし、近年、稲作の担い手農家集約が進み、規模が大きくなって、大量に発生するもみ殻処理に苦勞している経営体が多いと聞いている。地域の資源が循環せずに無駄になっているのか杞憂している。そこで、実態を調査し、どのような解決策があるのか検討する必要があるのではないか。
市長▼大量のもみ殻の活用方法としては、畜産農家において畜舎の敷料などとして大きな需要があると聞くので、農協などと連携しながら、農業者同士のマッチングが円滑に行えるような施策について今後検討する。

資源循環型農業の現状について

議員▼資源循環型農業の現状について問う。
市長▼資源循環型農業の現状について問う。



ふるさと納税のこれまでと、今後の展望について

武藤 広一

議員▼令和3年度の納税見込み額を問う。

市長▼現在の寄附額が28億4千万円で、年度末までに30億円を見込んでいます。

議員▼寄附をされた方への返礼品に添える御礼状はあるのか。

市長▼返礼品に添えるのではなく、寄附金受納証明書に添えて後日送っている。

議員▼寄附をされた方や市民に対して、使い道を周知してはどうか。

市長▼寄附件数や寄附額については、市のホームページや広報かくだで知らせているが、具体的な使い道は知らせていない。今後、使い道を周知する方法、仕組みを検討したい。

議員▼令和4年1月末の河北新報に「アイリス家電でふるさと納税26倍、大河原町、宮城2位に躍進」と掲載された。大河

原町との同意に至った経緯と、今後の連携やメリット、相乗効果について問う。

市長▼規定に基づき、大河原町より本市に対し、共通返礼品としての取扱い依頼があり同意した。アイリスオーヤマが宮城県に進出して、最初に工場を開いたのが大河原町であり、歴史的背景から同意した。本市でも、大河原町の返礼品である「もちぎた」や加工品などを共通返礼品として取扱っている。今後、更にメリットや相乗効果が得られるよう進める。

議員▼角田市第6次長期総合計画、令和4年から10年間に於いて、ふるさと納税は財政運営において必要不可欠な収入だ。今後の使い道と10年間の展望について問う。

市長▼ふるさと納税は本市にとって大変重要な財源である。現在、審議中

の第6次長期総合計画の第2節、持続可能な行政運営、第1項、効率的な行政運営を目指して、についても、税外収入等の確保に努めようとしている。その前提として、ふるさと納税制度が10年間継続することが条件となる。本市として、寄附をいただいた貴重な財源を使い重点プロジェクトはじめ、諸課題の解決に邁進したい。

議員▼現在、アイリスオーヤマ社だけに偏っているが、他の企業等への働きかけも必要ではないか。

市長▼ふるさと納税制度は、返礼品そのものが地域における雇用の創出や新たな地域資源発掘、また、地域経済の活性化に寄与するものである。市場産品基準にのっとり、より多くの事業者が返礼品の提供を働きかけたい。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

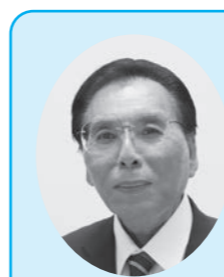
市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。



南角田駅周辺の整備について

小島 正

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。



▲南角田駅トイレ

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。

コロナ禍後の角田市活性化に向けた健康ポイント事業のさらなる利活用について

小湊 毅

議員▼現在のコロナ禍の中、外出が控えられ、孤立化するケースが見受けられ、高齢者の方の要介護度の上昇、認知症発症のリスクの上昇が懸念される。角田市では「健康ポイント対象事業」を行っており、この事業を拡充することで、健康で

社会的な日々の生活を継続して頂く為に、とても有用なものになるのではないかと考える。さらに地域経済の活性化にもつながるものと考えている。健康と地域経済の活性化を結びつけたこの事業についての所見を問う。

市長▼健康づくりへの習慣と関心を高めることを目的に、対象事業の参加者に健康ポイントを付与し、このポイントを角田スタンプ会の「ためトクポイント」に交換する事業である。市民の意識向上や運動習慣に対する誘因等、角田スタンプ会のためトクカードと連携することにより、一定の効果を上げてきたと考えている。人を結び、元気づける、市内での消費につながるという点で、このような時代にこそ、利用されるべき仕組みだと考えている。

議員▼健康増進、特に認知症発症リスクを考えた場合、運動だけでなく、手先を動かすことなど運動系でないものも非常に有効であると考えられる。一般的に文化系と言われる

活動についても、健康ポイントの対象とすべきではないか。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。

議員▼市第259回定例会一般質問答弁で「南角田駅改築を促進する」、第267回定例会一般質問答弁で「町尻区画整理事業を完了させ、その後検討する。平成11年までの基本計画にも位置づけられており、御理解いただきたい」とのことであったが、その後の状況は、市長▼具体的な整備について発言があったことは、現市長としても重く受け止めている。

議員▼令和元年東日本台風災害の際、駐車場は浸水、被災したのか。

市長▼道路の冠水により、南角田駅の状況を直接認識できなかったが、衛星写真及び周辺の浸水状況、聞き取りなどから、浸水があったものと認識している。

議員▼第267回定例会一般質問で行った南角田駅の用地取得について、再度問う。

市長▼周辺の開発状況や乗降人数の動向が大幅な減少となっていることから、現時点では難しいと認識している。

議員▼駐車場を市道南町斗蔵線と同じ高さに整備する必要が感じているが、市長の考えを問う。

市長▼軟弱な地盤でもあり、整備するには多額の費用が生じること。また、隣接する民有地への影響を及ぼすおそれがあることから、今のところ、整備をする考えはない。

議員▼駐車場とトイレは道路の下にあり、非常に治安が悪く、利用者も少ない。トイレを道路の高さにする考えはあるか。

市長▼今後の災害に備え対応するため、2路線とも角田市防災・減災構想に位置づけ、令和2年度から事業に着手し、令和6年度の完成を目標とし、早期に完成できるように、後も事業を進めていく。



「みやぎ県南中核病院相乗りタクシー試験運行」、その後について

菅野 マホ

議員▼試験運行の検証結果を踏まえ、開始予定の「みやぎ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業の運営システム」を具体的に問う。

市長▼市内に住居登録がある65歳以上の方、または65歳未満でも自動車の運転免許がない方を主な対象として、中核病院へ通院するためタクシーを利用した場合、半額の料金で乗車できる事業である（片道上限3千円）。登録制とし、利用者は自宅から中核病院まで、いつでもドア・ツー・ドアの移動が可能になる。

議員▼病人は年齢を問わず、ぜひ、65歳を撤廃していただきたい。また、ドッグや検査の後にも具合が悪くなるかもしれないので車が使えない方もいる。助成対象者はお見舞いを含め、中核病院行きを希望する交通弱者、という大きな認識でお願いしたい。

市長▼確かに、65歳以下の方も使わざるを得ない状況だと思うので、前向きに考えたい。

議員▼相乗りタクシーの利用者アンケートでは、「このまま相乗りタクシーも続けてほしい」という声が多かった。1年程度は相乗りタクシーと、今回のタクシーの補助事業と双方で運用してはどうか。

市長▼相乗りタクシーの経路の方だけは千円で付けて、他の方は上限3千円の半額負担だと、市全体の公平性が失われる。利用者に適正な費用をこ負担していただきながらも、タクシー事業に一本化していきたい。

「角田市の情報発信と市民力」について

議員▼市がメディアに取り上げられると市民は誇りを感じ、街に愛着と誇りを感じる。しかし、角田市は他市町村と比べ、情報発信が不得手だと聞かれているが、市長の所見を問う。

市長▼市外に向けた情報発信力が弱いと認識をせざるを得ない。本市の情報発信は、令和2年度にホームページをリニューアルしたり、広報かくた「キラリと光るかくた」特集を毎月掲載するなど、少しずつ情報発信力を強化している。

議員▼プレスリリース、市長の記者会見はできる限り、定期的に行っていただきたい。市長が顔を出すことは大切だ。どの部署がどのように行っているのか、現状と今後の計画について問う。

市長▼記者会見については、総務課が議会定例会に合わせ実施し、各課から発信したい情報を集約して提供している。今後は、本市の認知度、知名度向上につなげる一助として、市PR動画を制作し、魅力や価値をSNSを通して発信する計画である。

現在、病院ではゼロ件、診療所1件、歯科診療所1件、薬局4件の計6件で、各医療機関等に現状を直接電話で確認したところ、実際に利用可能な医療機関等は、歯科診療所1件、薬局3件の計4件である。

議員▼マイナンバーの怖さは、名寄せした情報でその人物像を仮想的に作り出す「プロフィール」にあるが、どう理解しているか。

市長▼マイナンバーカードは、社会保障、税、災害対策の分野のうち、法律または条例で定められた事務手続において使用されるものであり、プロフィールに利用されることはないと認識している。

議員▼マイナンバーカードの交付に際して、どのような観点を重要視して今後、進めていく考えか。

市長▼マイナンバーカードの交付は、国の方針に基づき、交付することにはもちろんのこと、さらに個人情報保護について心配される方もいるかと思えますので、そうした方への丁寧な説明も必要であると考えている。

議員▼新たなデジタル推進のメンバー数、推進課題、期限はいつまでか

市長▼室長以下7名の職員を配置し、行政手続のオンライン化を進めながら、国のシステム標準化・共通化を令和7年度までに達成していく。



角田市の「デジタル化の課題と焦点」について

八島 定雄

議員▼「マイナンバーカード」を保険証として使用する場合は登録が必要だが、本市の現在の登録者数は何人か。

市長▼現段階では把握できていない状況である。

議員▼市内の利用可能な病院、診療所、歯科診療所、薬局の数について問う。

市長▼令和4年2月27日

議員▼現在、本市では、市内小中学校の統廃合により廃校になる、または廃校になった学校の利活用が大きな問題となっている。

そのような中、令和4年2月5日の新聞報道では「留学生や外国人労働者の地域定着を目指し、

廃校を活用した日本語学校の開設について

馬場 道晴



宮城県は4日、公的機関が関与する日本語学校の開設を新年度に検討する方針を決めた。地方の人口減が加速する中、幅広く人材を呼び込み、産業振興と国際化推進を目指す。新年度当初予算案に調査費約300万円を計上する。大都市圏に比べ、採算面から民間の日本語学校が地方に進出する可能性は限られるため、官民連携や市町村主体など運営の仕組みを模索する。全国初の町立日本語学校を開校した北海道東川町の事例を参考にしたいと見られる。同町は卒業生の地元就職や定住を積極的に応援して人口増につなげており、地域振興の先進地として注目されている。県は新年度、県内に住む外国人の児童生徒を対象に日本語講習、講師派遣といった語学支援も検討。当初予算に必要経費約1,300万円を盛り込む」との内容がある。県の動きに合わせて積極的に取り組むべき。市長の考えを問う。

市長▼廃校施設等の利活用については、令和3年3月と10月に東根地区を対象に、東根地区振興協議会と角田市の共催で、ワークショップ「東根未来小学校」を開催し、地域住民が主体となり旧東根小学校の利活用方法等の検討を行った。また、市も令和3年10月に角田市廃校施設等利活用方針を策定し、11月には国土交通省主催のマッチングイベント「東北ブロックプラットフォームサウンディング」へ参加したほか、廃校施設等の情報を令和3年11月1日より、文部科学省のマッチングサイト「未来につながる」も掲載された。12月には、市内の誘致企業へ、廃校施設等の利活用について説明を行った。

廃校施設等の利活用を進めるには、地域の声を丁寧に聞きながら進めることが最も重要だと考えている。日本語学校としての利活用は、地域がそれを望むのであれば、可能性の一つとして検討に値すべきと考える。



デジタル化に向けた角田市の今後の取組について

星 隆悦

議員▼新型コロナウイルス感染症対応がきっかけで、自治体のデジタル化の遅れが明らかになった。マイナンバーカードの普及率低下により、国による接種記録の一元的管理などの難しさは、政治、行政の怠慢であり、早急には是正すべきことである。国は、「デジタル・ガバメント実行計画」の改定や「自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画」等を策定し、自治体における「行政のデジタル化」に向けた方針を示した。角田市でも「住民の利便性向上」と「市行政における業務効率化」を同時に実現し、様々な分野において、デジタル化を推進していく必要があるが、具体的内容について問う。

市長▼自治体DX推進計画では、特に国民の利便性向上に資する手続として、子育て関係15手続、介護関係11手続、防災証明書の発行申請手続、自動車保有関係4手続、計31手続を、令和4年度末に原則全自治体でオンライン手続可能とするものである。また、地方公共団体では、被災者支援関係、転出転入手続関係などの32手続が、優先的に推進すべきものとして求められている。

デジタル手続法では、行政のあらゆるサービスを最初から最後までデジタルで完結させるためにデジタル3原則を明確化している。ほぼ全ての手続を、令和7年末までにオンライン化する方針が示され、各自治体でも、ほぼ全ての手続でオンラインが可能となることが求められると想定している。

▲市議会のホームページ





枝野地区の防災・減災対策の
計画事業年度の繰り上げについて
日下七郎

議員▼角田市防災・減災構想（令和3年5月作成）は、令和元年東日本台風（台風第19号）により、特に甚大な被害を受けた7地区のうち枝野地区については、沼尻排水機場（排水能力毎秒5.4トン）の機能強化を令和3年度から要請し、令和10年度から事業費8億円としている。現在、事業主体が県、市町村等の用排水施設等整備事業があり、採択要件は「受益面積がおおむね400ha以上、かつ、総事業費がおおむね5億円以上」で、負担割合は国55%、県37%、市町村8%である。枝野地区の防災・減災対策の計画事業年度の繰り上げが可能と思われるが、市長に問う。

市長▼沼尻排水機場は、老朽化施設であるため、

議員▼沼尻排水機場の経年劣化した部品を交換し、整備完了後の排水能力は、整備前と同じ毎秒5.4トンでは、防災・減災構想の枝野地区、沼尻排水機場の機能強化には結びつかない状況と思うが、

市長▼防災・減災構想で示した沼尻排水機場の機能強化事業が、このままの状況では改善とならないと認識している。現在、阿武隈川流域治水ということで、宮城県、福島県、阿武隈川流域のすべての市町村、国土交通省、農林水産省、関連省庁も協力し、抜本的な対策を検討し、事業を実施している。その中で、国に再三申し上げ、理解を示している状況であり、今後、関係省庁、宮城県、丸森町と協力しながら、打開策を見出していきたい。



▲枝野地区（7・8区）の冠水状況

議員研修会

2月7日（月）に、議員研修会を開催しました。始めに、交通安全講習会を開催し、角田警察署交通課今野課長より、県内、管内及び市内の交通事故発生状況とその特徴（発生場所・時間帯、事故類型・原因）、高齢運転者の免許更新制度の改正等の講演を頂きました。続いて、黒須市長より、令和4年度の角田市当初予算（案）の概要として、予算規模、（仮称）子ども子育て未来基金の創設、総合体育館屋上・外壁改修等の主な事業の概要説明を受けました。



▲議員研修会の様子

議場の傍聴について（再開）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席の定員を制限して再開します。

【傍聴の仕方】
市役所東庁舎3階にある議会事務局までお越しください。予約は不要で、先着順となりますが、受付で氏名・住所・連絡先（電話番号）を記入していただきます。

【傍聴に際してのお願い】
●議場の傍聴席定員は10人（定員の2分の1程度）とし、間隔を空けて着席いただきます。
●マスク着用による咳エチケットの徹底、入場前のアルコール消毒液による手指消毒、検温のご協力をお願いします。
●発熱等により体調のすぐれない場合は傍聴をご遠慮ください。
●議場には入れません。
※状況により、傍聴の自粛をお願いする場合があります。詳細は、市ホームページをご覧ください。



空き家対策について

堀田孝一



議員▼本市の「平成25年30年の住宅・土地統計調査」による空き家件数と率及び賃貸・売却物件を除く件数と率を問う。

市長▼平成25年の空き家件数は1,060件で率は9.7%、賃貸・売却物件を除く空き家件数は620件で率は5.7%である。平成30年度の空き家件数は1,490件で率は13.1%、賃貸・売却物件を除く空き家件数は600件で率は5.3%である。

議員▼平成25年5月に空き家の適正管理方策策定のため、本市独自で調査を行っているが、平成25年5月以降、本市独自の調査は行っていない。適時調査を行い、早めの対応が必要と考えるが、

市長▼調査から8年が経過しており、市内の空き家の状況も変化していると思っている。現状を把握し、空き家管理の適正化を促進するためにも、実態調査を行う必要があると考えている。

議員▼空き家に関する相談窓口を庁内に設けて、状況に応じた専門的なアドバイスも必要と考えるが所見を問う。

市長▼今後検討していく必要があると思っている。

議員▼空き家の管理不全により、防災、衛生、景観等に深刻な影響を及ぼすことが問題視されており、総合的かつ計画的に進めるため、空き家対策の計画が必要ではないか。

市長▼所有者等がその責任において的確に対応することを前提とした上で、安全安心に暮らせる生活環境を確保するため、空き家対策の計画は必要であると認識している。

議員▼所有者が遠方で空き家管理が難しい方を対象としたサービスを、ふるさと納税返礼品に加え、ふるさと納税の返礼品にすることも検討すべきと考えるが所見を問う。

市長▼効果が期待できることから、取り扱いに向けて前向きに検討したい。

議員▼平成24年9月に空き家バンク制度が制定されているが、近年はほとんど活用されていない。抜本的な見直しが必要である。

市長▼空き家を購入しようとする方と不動産業者間で完結していることや、市内の不動産業者の多くが自社のホームページや民間の不動産情報サイト等を活用しており、中古物件を希望する方は容易に情報を得ることができ、空き家バンク制度の必要性も薄れてきている。こうした状況を踏まえ、現行の制度を廃止し、新たな制度への転換を検討している。

議会日程

- 1月
 - 26日 会派代表者会議
 - 31日 全員協議会・正副委員長会議
- 2月
 - 1日 かくだ市議会だより216号発行
 - 7日 議員研修会
 - 10日 第416回定例会招集告示・会派代表者会議
 - 14日 議員協議会・議会運営委員会
 - 17日 本会議（第1日）・会派代表者会議
 - 21日 議会運営委員会
 - 28日 本会議（第2日）・予算審査特別委員会（第1日）
- 3月
 - 2日 予算審査特別委員会（第2日）
 - 3日 議会運営委員会
 - 4日 総務産業常任委員会・教育厚生建設常任委員会
 - 7日 本会議（第3日）・予算審査特別委員会（第3日）
 - 9日 予算審査特別委員会（第4日）
 - 10日 予算審査特別委員会（第5日）
 - 11日 本会議（第4日）・議員協議会
 - 14日 本会議（第5日）・議会運営委員会
 - 15日 本会議（第6日）・議会運営委員会・議会だより編集会議
 - 12日 議会だより編集会議

ライブ・録画配信をやっています



http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になります。また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第416回（令和4年2月）定例会

インターネットライブ中継視聴者数 延べ511人

インターネット録画中継視聴者数

1月～3月 延べ680人

議会だよりモニター委嘱状交付式

角田市議会では、読みやすく、わかりやすい「かくだ市議会だより」を目指し、議会だよりモニターを令和4年度から開始します。



令和4年4月12日(火)、モニターの皆様へ委嘱状を交付しました。モニターの任期は2年間で、より良い紙面づくりのため、9名の方に協力いただくこととなります。なお、モニターの皆様からのアンケート結果は、今後、議会だよりや市議会ホームページで公表していく予定です。

議会だよりモニターとは？

議会だよりに関するアンケート調査への回答、意見をいただきます。応募は2月に行いました。



渡邊議長（右）より委嘱状を一人ずつ交付しました

編集後記

まさかこんなことが起こるとは、3・11大震災、コロナウイルスによるパンデミック、ロシア軍によるウクライナ侵攻など、生きているうちに体験、見聞き出来るとは思いませんでした。予見、予測が出来ないこと、理不尽のことには、諦めず、「したたか」に生きるしかないと思います。角田市議会第416回定例会においては、主に令和4年度予算案を慎重かつ詳細な審議のうえ、可決しました。第6次長期総合計画の初年度になり、今後の角田市の命運を左右する大事な予算ですので、議会としても、執行状況を常にチェックし、議会の役割を果たしていきます。追伸、角田市議会では、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議」を可決しました。ある歌詞で「死んだ兵士の残したものは、何もなかった。壊れた銃と歪んだ地球、他には何も残さなかった。平和一つ残さなかった。」重い言葉です。人類の英智で平和の構築を。

議会だより編集会議

委員 星 隆悦

6月定例会の予定

会期

6月10日(金)～6月28日(火)

本会議の日程（午前10時開会）

6月10日	提案理由の説明
21日	質疑・自由討議
24日	討論・表決・一般質問
27日	一般質問
28日	最終日

※日程は変更になる場合があります。